



Nine Hundred Two

ユーザーマニュアル

目次

はじめに

1.1 ケース仕様.....	2
1.2 図.....	2

ハードウェアの取り付け

2.1 セットアップ.....	3
2.2 電源の取り付け.....	3
2.3 マザーボードの取り付け.....	3
2.4 フレキシードライブベイシステム.....	4
2.5 内部3.5” デバイスの取り付け.....	4
2.6 外部3.5” デバイスの取り付け.....	5
2.7 外部5.25” デバイスの取り付け.....	5
2.8 ケーブルマネジメントコンパートメント.....	5
2.9 水冷プラットフォーム.....	5
2.10 3-Way SLIコンフィギュレーションオプション.....	6

I/Oポートの取り付け

3.1 USB 2.0ポート.....	6
3.2 eSATAポート.....	6
3.3 AC’ 97 / HDオーディオポート.....	6
3.4 電源スイッチ/リセットスイッチ/ ハードドライブLEDコネクタ.....	7
3.5 マザーボードヘッダーコネクタの再配線.....	7

冷却システム

4.1 Big Boy 200™ 200mm TriCool™ファン.....	8
4.2 フロント/リア TriCool™ LEDファン.....	8
4.3 オプションファン.....	9
4.4 洗浄可能エアフィルター.....	10

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される仕様と若干異なることがあります。使用上の問題はございません。こちらのマニュアル出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

Nine Hundred Twoユーザーマニュアル

Nine Hundred Two電源が搭載されておりません。お手持ちのシステムに対応可能な電源をお選びいただき、ケーブル等がマザーボード、周辺機器に十分届くかをご確認ください。弊社では、最新のATX規格に対応した省エネ設計のTruePower、NeoPower、Signature電源をお勧めいたします。ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、処理を施してあります。作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置を取ることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。

注意:Nine Hundred Twoには、上部ストレージトレイが搭載されています。Antec では、こちらに液体を含むもの(飲み物、ろうそく、香水等)を 置かないようお勧めします。パーソナルメディアプレイヤー、デジタルカメラ、鍵、硬貨等はこちらのトレイに置くことができます。

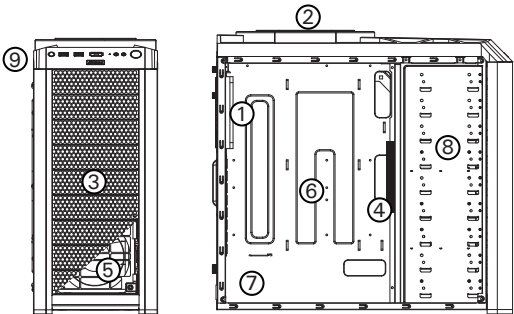
このマニュアルは、CPU、RAM、または拡張カードの取り付けについては対象としていません。特定の取り付け指示およびトラブルシューティングについては、マザーボードのマニュアルを参照してください。取り付け時は安全のため、平らな面にケースを置き作業をしてください。

1.1 ケース仕様

ケースタイプ	ゲーマーケース
色	ブラック
寸法	19.3” (H) x 8.7” (W) x 18.5” (D) 490mm (H) x 220mm (W) x 470mm (D)
重量	25.4 lbs / 11.5 kg
冷却	1 x トップ 200mm TriCool™ Blue LED 3可変速ファン 2 x フロント 120mm Blue LEDファン (フロントコントロール ノブ搭載) 1 x リア 120mm TriCool™ Blue LED 3可変速ファン 1 xサイド 120mm ファンマウント (オプション) 1 x ミドル 120mm Fan Mount (オプション)
ドライブベイ	9つのドライブベイ : - 最大 9 x 外部 5.25” ドライブベイ - 最大 6 x 内部 3.5” ドライブベイ - 1 x 外部 3.5” ドライブベイブラケット
拡張スロット	8つの拡張スロット (3-way NVIDIA™ SLI™ コンフィギュレーション対応)
マザーボードサイズ	ミニITX、 マイクロATX、 標準ATX
フロントI/Oパネル	2 x USB 2.0 1 x eSATA AC’ 97/HDオーディオイン及びアウト

1.2 図

- 1 x リア120mm TriCool™ ファン
- 1 x トップ200mm TriCool™ファン
- 2 x フロント120mm TriCool™ファン
- 1 x ミドル120mmファンブラケット
- 洗浄可能なエアフィルター
- マザーボードマウント: ミニITX、 マイクロATX、 標準ATXに対応
- 電源マウント
- 9つの5.25” ドライブベイ / 自由に設置ができる2つの3.5” ドライブ|ブケージ
- フロントマウント



ハードウェアの取り付け

2.1 セットアップ

1. 平らで安定した場所にケースを置いてください。（電源や拡張スロットのある側が手前になります。）
2. サイドパネルから手回しネジを取り外してください。手前へサイドパネルをスライドさせながら、ケースを開いてください。**備考：**手回しネジを安全な場所に保管してください。このネジはHDDケージのネジとは共用できません。
3. 同様にもう一方のサイドパネルから手回しネジを取り外してください。手前へサイドパネルをスライドさせながら、ケースを開いてください。手回しネジを安全な場所に保管してください。ケース内には、ケース下部後方に電源マウント、2つのHDDケージを内蔵した5.25"ドライブベイエリアがあります。また、印の付いたコネクター付きケーブル（USB、PWR等）、取り付け済みのI/Oパネル、ハードウェアを含むツールボックス（ネジ、スペーサー等）があります。**備考：**危険ですので爪を使って、サイドパネルを取り外さないでください。

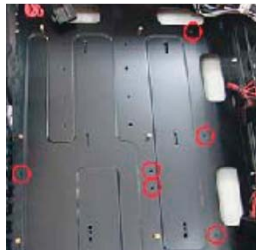
2.2 電源の取り付け

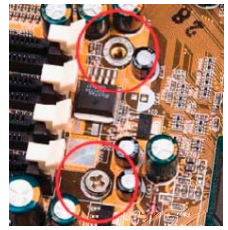
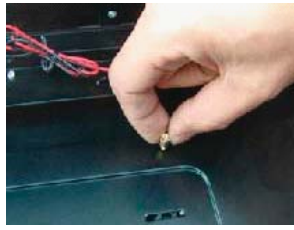
1. ケースを直立させ、電源をケース底部の4つのシリコンパッドの上に置いてください。
備考：底部にファンが搭載されている電源は、ファンが上部に向くように取り付ける必要があります。Nine Hundredは、電源マウント用の穴は、通常どおりでも、上下が逆でも取り付けられるように設計されています。
2. 電源を奥まで押し込み、マウント用の穴に合わせてください。
3. 電源に同梱のネジで電源を固定してください。



2.3 マザーボードの取り付け

1. サイドパネルを取り外した側を上にして、ケースを置いて下さい。
2. I/Oパネルがお持ちのマザーボードに合っていることを確認してください。予め取り付けられているI/Oパネルがお持ちのマザーボードに合わない場合は、マザーボードメーカーにお問い合わせください。
3. マザーボードをスペーサー用の穴にあわせて置いて下さい。どの穴と一致しているかを覚えておいてください。全てのマザーボードがこれらの穴に一致するとは限りません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。
4. マザーボードを持ち上げ、ケースから出してください。
5. スペーサーを先ほどマザーボードと合わせた穴に設置してください。
6. 取り付けたスペーサーの上にマザーボードを置いてください。同梱されているプラスネジでマザーボードをスペーサーに固定してください。





2.4 フレクシードライブベイシステム

Nine Hundred Twoは、9つの外部 5.25" ドライブベイがケース前面に搭載されています。底部の6つの5.25" ベイ内部には、2つのHDDケーシングがあらかじめ取り付けられています。各HDDケーシングは、連続した3つの5.25" ドライブベイを占有し、3台のHDDが搭載可能です。HDDケーシングは、この外部ベイの内部であればどこにでも取り付けが可能であり、最大限にこの柔軟性を活用することができます。（底部の6つのベイに限りません。）

組み合わせ可能なドライブベイのコンビネーション（以下に限りません。）：

- ・ 外部 3 x 5.25" + 内部 6 x HDD
- ・ 外部 6 x 5.25" + 内部 3 x HDD
- ・ 外部 9 x 5.25"
- ・ 外部 3 x 5.25" + 内部 3 x HDD + 冷却ダクト

HDDケーシングの1つには、予めミドルファンブラケットが取り付けられています。このブラケットに120mmファンを取り付けることが可能です。このファンは、吸気ファンになります。HDDケーシングが冷却ダクトとなり、グラフィックカード、CPUを冷却します。このミドルファンを取り付けることにより、このHDDケーシングへのハードディスクの取り付けが不可能になります。しかしながら、ミドルファンブラケットを取り外すことにより、このケーシングにもハードドライブを取り付けることができます。

2.5 内部3.5" デバイスの取り付け

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。
2. HDDケーシングを筐体に固定している手回しネジを取り外してください。
3. HDDケーシングをケース前面に向かって押し出し、ケーシングを取り外してください。
4. 同梱されている長いネジを使用し、HDDをケーシングに取り付けてください。
5. HDDケーシングをケースに挿入して戻し、手回しネジで固定してください。
6. 電源から適切なコネクタを取り付けてください。接続の際にケーブルに若干の余裕を持たせることにより、ファンフィルターの洗浄等が容易になります。
7. 120mmファンがそれぞれのケーシングに取り付けられています。ファンの4ピンコネクタを電源に取り付けてください。**備考：** ミドルファンブラケットがいずれかのHDDケーシングに取り付けられています。こちらのケーシングにHDDを取り付けられる際には、このファンブラケットを取り外してください。



2.6 外部3.5” デバイスの取り付け

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。外部3.5” ドライブを取り付けるドライブベイカバーを取り外してください。
3. アダプターに使用する3.5” デバイスを取り付けてください。
4. ベイにドライブアダプターを取り付けたデバイスを挿入してください。
5. アダプターをネジで固定してください。
6. フェースプレートをネジで固定してください。



2.7 外部5.25” デバイスの取り付け

備考: HDD ケージは、連続した3つの5.25” ドライブベイを占有し、場合によっては光学ドライブ等の大きなデバイスと干渉することがありますので、前もってデバイスの取り付けを計画してください。

1. 両側のサイドパネルをセットアップの項目にある通り、取り外してください。
2. 適切な金属ドライブベイカバーのネジを両側から取り外してください。
3. カバーを取り外してください。
4. 必要であれば、取り付け済みのHDD ケージも取り外してください。
5. ケース前部から5.25” デバイスをベイに挿入してください。
6. ドライブに同梱されているネジで固定してください。
7. 電源から適切なコネクタとマザーボードから適切なインターフェースコネクタをデバイスに取り付けてください。接続の際にケーブルに若干の余裕を持たせることにより、ファンフィルターの洗浄等が容易になります。
8. その他のデバイスも同じように取り付けてください。



2.8 ケーブルマネジメントコンパートメント

マザーボードと右側のサイドパネルの間には、ケーブルマネジメントコンパートメントがあります。

1. 両側のサイドパネルを取り外して下さい。
2. マザーボードトレイの裏側に配線したいケーブルを穴から通し、電源側のチャンバーからケース右側に引き出してください。
3. 取り付けてある結束バンドを利用してください。
4. ケーブルの行き先近くの挿入ポイントからケーブルを通して接続します。接続したケーブルの余りをケースの右側に引き戻しておきます。

2.9 水冷プラットフォーム

このケースは、5.25” の金属プレートが5.25” ドライブの3段目に取り付けられています。このプレートは、水冷ポンプやリザボア等を取り付けることができるように設計されています。このプレートは、9個の5.25” ドライブベイのいずれにも取り付けることができるフレキシブルな設計になっています。

備考: お手持ちの水冷キットに対応するためには、ドリル等で必要な穴を開けて水冷キットを取り付ける必要があります。

2.10 3-Way NVIDIA™ SLI™ コンフィギュレーションオプション

Nine Hundred Twoには、8つの拡張スロットがあり、3枚のグラフィックカードをトリプルSLIコンフィギュレーションとして使用することが可能です。詳しくは、お手持ちのマザーボード、グラフィックカードのマニュアルをご参照ください。

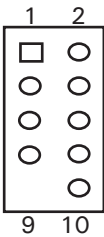


I/Oポートの取り付け

3.1 USB 2.0ポート

備考: お手持ちのマザーボードのマニュアルを参照し、USBヘッダーのピンの配置が以下の表に一致することを確認してください。一致しない場合は、販売店にご相談ください。

USBコネクターのピン配置



ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2

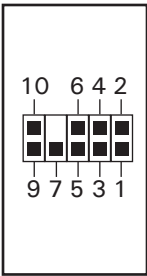
3.2 eSATAポート

フロントポートに取り付けられているケーブル付きのSATAコネクタを確認してください。この内部コネクタをマザーボードに接続してください。これによりAntec MX-1等の外付けHDDドライブを内蔵ドライブと同等の速度で使用することができます。

3.3 AC' 97 / HDオーディオポート

こちらのケースには、10ピンのAC' 97オーディオのフロントパネルコネクタ及び10ピンのHDオーディオ (HDA) が搭載されております。

オーディオポートのピンレイアウト (HDA及び AC' 97)



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

マザーボードのモデルによりAC' 97、HDオーディオコネクタがご利用いただけます。マザーボード、または、サウンドカードの内部用オーディオコネクタに適切なオーディオケーブルを接続してください。オーディオヘッダーピン配置については、マザーボード、サウンドカードのマニュアルをご参照ください。両方のオーディオ規格に対応している場合でも、いずれか一方のコネクタのみ使用可能です。

3.4 電源スイッチ/リセットスイッチ/ハードドライブ LEDコネクタ

電源、リセットスイッチ、HDD LEDがフロントパネルに接続されています。これらをマザーボード上の適切なコネクタに接続してください。特定のピンヘッダーの場所に関しては、マザーボードのマニュアルをご参照ください。LEDでは、色付の配線側がプラス (+) になります。白と黒の配線は、マイナス (-) になります。システムの電源が入っている際にLEDが発光しない場合は、極性を反対にして試してみてください。その他のLEDの接続に関する情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

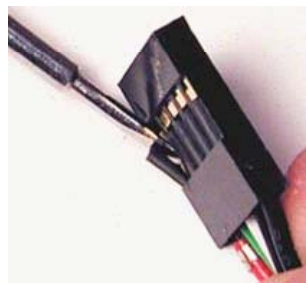
備考：スイッチに極性 (+、-) は関係ありません。このケースには、電源LEDは搭載されていません。電源がオンの際には、ケースファンが点灯します。



3.5 マザーボードヘッダーコネクタの再配線

マザーボードヘッダーコネクタのピンアウトを変更する必要がある場合があります。変更例としては、USBヘッダー、オーディオインプットヘッダー、あるいはパワーブッシュボタンコネクタなどのその他のフロントパネルコネクタがあります。作業に取り掛かる前に、マザーボードのマニュアル、もしくはウェブサイトでコネクタのピンアウトをご参照ください。万が一に備えて、予めピンコネクタ配置の図入りのメモを作成されることを強くお勧めします。

1. マザーボード上のUSBピンアウトに合ったプラグの配線を替えるためにどのケーブルを取り外す必要があるか決めてください。（お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。）1つずつ処理し、マイナスの精密ドライバー、もしくは同様の道具を利用して、金色金具横の黒色タブを持ち上げてください。USBプラグから簡単にピンを外すことができます。
2. ケーブル、コネクタ、ピンなどを傷つけないように注意して作業してください。そしてゆっくりとコネクタからピンを外してください。必要に応じて、この作業を繰り返してください。
3. ゆっくりとピンを正しいコネクタのスロットに挿入し、ステップ1で持ち上げた黒色タブを「カチッ」と音がするまで閉めてください。必要に応じて、この作業を繰り返してください。



冷却システム

4.1 Big Boy 200™ TriCool™ ブルーLEDファン

Nine Hundred Twoでは、BigBoy 200™ 200mmファンを搭載しています。このファンは、3可変速で必要に応じて最適な回転速度を設定できます。また、ブルーLEDのオン・オフスイッチも搭載されています。初期状態では、Lowの設定になっています。

サイズ：200 x 30mm 3可変速ファン
定格電圧：12V DC
動作電圧：10.2V ~ 13.8 V



スピード(RPM)	入力電流	エアフロー	静圧	ノイズ	入力
High 800	0.3A (max.)	3.8 m³ / min(134 CFM)	0.7mm-H2O (0.027 inch-H2O)	30 dBA	3.6 W
Medium 600	0.17A	3.1 m³ / min(108 CFM)	0.4mm-H2O (0.016 inch-H2O)	27 dBA	2.0 W
Low 400	0.08A	2.3 m³ / min(82 CFM)	0.2mm-H2O (0.008 inch-H2O)	24 dBA	1.0 W

4.2 フロント/リア TriCool™ ブルーLEDファン

Nine Hundred TwoではHDD冷却用として、それぞれのHDDケースの前にブルーLEDを搭載した2つの120 x 25mm TriCool™ Blue LED ファンが取り付けられています。こちらのファンにより、ケース内への吸気が行われます。それぞれのファンには、速度をコントロールするノブが付いています。時計回りにノブを回すことで、回転スピードが増します。最低スピードは1200rpmで、最速スピードは2000rpmです。以下の表を参照し、適切な設定を選択してください。

ケース内後部には、1つの120 x 25mm TriCool™ ブルー LEDファンが予め取り付けられています。このファンにより、ケース内から空気が排気されます。それぞれのファンは、3可変速のスイッチが搭載され、静音パフォーマンスから最大冷却の用途に合わせて速度が選択できます。これらのスイッチは、ケース背面に取り付けられています。初期の速度設定は、Lowになっています。

サイズ：120 x 25mm TriCool™ファン
定格電圧：12V
動作電圧：10.2V - 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 2000RPM	0.24A (最大)	2.24 m³ / min (79 CFM)	2.54 mm-H2O (0.10インチ-H2O)	30 dBA	2.9 W
中 1600RPM	0.2A	1.59 m³ / min (56 CFM)	1.53 mm-H2O (0.06インチ-H2O)	28 dBA	2.4 W
低 1200RPM	0.13A	1.1 m³ / min (39 CFM)	0.92 mm-H2O (0.04インチ-H2O)	25 dBA	1.6 W

備考：通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロール（Fan-Onlyコネクター）を利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCool™をMedium（パフォーマンス）あるいはLow（静音）に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCool™の回路にて5V以下になることがあります。

4.3 オプションファン

このケースには、オプションとして2つの120mmファンマウントが搭載されています。サイドパネル（左）のファンマウントとHDDケージ後部端のファンマウントがあります。これらのファンには、Antec 120mmTriCool™にてLowの設定でご使用いただくことをお勧めします。これらのファンマウントにファンを取り付けることにより、空気がケース内部へ吸気されます。

サイドファン- このサイドファンは、VGAの冷却を促進するために取り付けます。サイドパネル上のファンブラケットにファンを置くことにより、ケース内に吸気されます。

ミドルファン- どのドライブベイにHDDケージを取り付けるかによって、CPU、グラフィックカード、電源等を冷却するミドルファンを取り付けることができます。ハードドライブを取り付けないドライブケージにミドルファンを取り付けることができます。この設計は、とりわけデュアルグラフィックカードを冷却する際に最適です。

1. ミドルファンマウントを取り外すには、ベイとドライブケージを固定しているクリップ部を押し込みながら取り外してください。
2. 120mmファンをブラケットに押し入れて、マウントとファンのネジ穴を合わせてください。
3. 同梱の長いネジを利用してマウントにファンを取り付けてください。ネジを締めすぎないように注意してください。
4. ファンマウント側面にあるケーブルガイドに電源ケーブル（TriCool™を使用する際はコントロールスイッチも）を通してください。
5. 取り外したケージにブラケット部のアセンブリーを取り付けてください。
6. ファンの電源を電源に接続してください。



4.4 洗浄可能エアフィルター

フロントエアフィルター - HDDケージのフェースプレートの裏にはフィルターが取り付けられています。合計で2つのフロントエアフィルターが標準搭載されています。

フィルターを清掃するには：

1. 5.25” にHDDケージを取り付けている手回しネジを取り外し、安全な場所に保管します。
2. HDDケージはケースの全面に向かって2.5センチから5センチほどずらします。フェースプレートの後ろのエアフィルターが確認できます。

備考：エアフィルターを清掃するために電源やデータ用のコネクタをHDDやファンから取り外す必要はありません。前もって、取り付けの際にケーブルに5センチほどの余裕を持たせておいてください。

3. フィルターのタブをつまみ上げ、フィルターを取り外します。

サイドエアフィルター - サイドファンブラケット内にはエアフィルターがあります。アクセスするには、サイドパネルを取り外す必要があります。ブラケットからスライドさせるようにフィルターを取り外します。

定期的にフィルターの洗浄が必要です。フィルターの洗浄を行わないと、ケース内の温度が上昇し、システムの安定性に影響があることがあります。御使用当初は、月に1回フィルターを確認されることをお勧めします。洗浄の頻度は、システムの利用頻度及び利用環境により異なります。（常時システムが稼動している場合は、その他の場合と比較し、さらにフィルターの確認及び戦場が必要になります。）

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA

tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands

tel: +31 (0) 10 462-2060
fax: +31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

カスタマーサポート :
international@antec.com

www.antec.com

© Copyright 2009 Antec, Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of their respective owners.

Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited.